

## ．先天異常部

わが国唯一の先天異常児出生の監視機構としての役割を継続して果たしている。

1972年以来全国規模の病院ベースで外表奇形調査の集計、分析を続行している。例年日本先天異常学会や国際学会において、集計結果から得た本邦の先天異常児出生実態を報告している。

### 1．外表奇形等調査・分析の継続

(1) 1972年より開始した「全国外表奇形等調査」を日母おぎゃー献金基金からの援助を得て継続している。本年度もわが国の奇形発生状況の把握および分析を四半期毎に行った。

(2) 平成14年の調査結果を横浜市大モニタリングセンターでまとめ、統計学的、疫学的な分析を加え、「平成14年度外表奇形等統計調査結果」としてまとめた。奇形児出産頻度は1.76%で、年齢別出産頻度は40歳以上が2.41%と最も高かった。疾病別にみると、心奇形の発生が依然最頻度であったが、ダウン症候群や二分脊椎の発生(出産)頻度の上昇が認められ、母体年齢や葉酸摂取との関連が示唆された。

### (3) 調査結果発表

第43回日本先天異常学術集会にて(平成15年7月、大阪)にて以下の3題を発表した。

#### [シンポジウム]

- 1．日本産婦人科医会の立場からみたサリドマイド剤(平原常務理事)
- 2．神経管閉鎖障害の疫学と葉酸摂取(平原常務理事)

#### [一般演題]

- 1．日本産婦人科医会外表奇形調査(先天異常モニタリング)の検討 - 葉酸摂取推奨の効果の検討と分析：第二報 -

### 2．国際協力

(1) 国際クリアリングハウスモニタリングセンター(ICBDMS)日本支部を通じてICBDMSの事業に協力した。

(2) 国際クリアリングハウス年次総会および先天異常の疫学ならびに予防に関する国際シンポジウム(ISPECOM: International Symposium on Prevention and Epidemiology of Congenital Malformation)に出席し、「本邦における妊娠女性における葉酸摂取の状況と神経管閉鎖障害の推移(山中委員)」および日本産婦人科医会の先天異常モニタリングの分析状況(住吉顧問)など日本の現況について報告した。

また、住吉顧問のNominating Committee、平原常務理事のPrenatal Committeeへの就任が決まった。

### 3．胎児異常診断調査の継続

昭和60年度以降胎児異常診断のアンケート調査を継続し、診断技術の進歩しつつある現在における胎児異常診断の現況を把握し、検討を行った。

4．環境汚染物質(ダイオキシン、PCBなど)の影響で発生すると考えられる特定の奇形の地域分布、増減の分析を継続的に行った。また、厚生労働省からの依頼を受けて、「妊婦等における水銀を含有する魚介類の摂食に関する注意事項について」に関して医会報等を通じた

広報活動を行った。

5．先天異常の発生因子および予防に関するマニュアル作成に向けて、内外情報の収集と検討を行った。本年度は「食事と先天異常」(竹下委員)および「妊婦の薬物服用」(山中委員)の2編のマニュアルを作成し、ホームページに掲載、広報を行った。

6．風疹ワクチン接種の推進、葉酸摂取の重要性の啓発

先天性風疹症候群の発症予防のため、特に若年女性に対して風疹ワクチン接種の推進活動を継続して行った。さらに、風疹ワクチン未接種者に対する接種普及に関して厚生労働省から協力要請があったことに対して、医会報およびホームページで啓発活動を行った。また、葉酸摂取の重要性の啓発に関しても、学会報告等継続して行った。

7．先天性代謝異常検査事業の継続について

先天性代謝異常検査費が、平成13年4月から一般財源化された(地方交付税措置)。本事業に関しては、厚生労働省より各都道府県または、指定都市に今後とも事業内容の低下を来たさぬよう要望がなされているところである。日本マス・スクリーニング学会他関連団体と協力し、各都道府県の動向について実態の把握につとめた(平成17年度にアンケート調査予定)。

8．わが国および世界各国の先天異常発生状況の比較・検討

国際クリアリングハウスモニタリングセンター(ICBDMS)の結果の一部を、本会ホームページに掲載し、わが国との発生状況上の比較、検討結果も掲載した。

9．厚労行政および関連団体との協力ならびに情報交換

母子保健推進のために、厚生労働省、日本医師会、日本産科婦人科学会、日本マス・スクリーニング学会、日本先天異常学会、家族計画関係団体、女性保健関係団体との協力、情報交換等を積極的に行った。

10．委員会

本年度は下記のごとく、先天異常委員会を3回開催した。

[第1回]平成15年6月18日(水) 日本産婦人科医会会議室

出席者：鈴木委員長 他14名

- (1)平成15年度事業の推進に関する件
- (2)平成15年タイムスケジュール(案)に関する件

[第2回]平成15年11月19日(水) 日本産婦人科医会会議室

出席者：鈴木委員長 他11名

- (1)平成15年度事業の推進に関する件
  - 1)先天異常の発生因子と予防マニュアル作成に関する件
  - 2)胎児異常診断調査の継続に関する件
  - 3)外表奇形等調査・分析の継続に関する件
  - 4)2004クリアリングハウス国際モニタリングハウス年次総会日本開催の件
- (2)風疹予防接種経過措置期間超過後の対応に関する件

( 3 ) 平成16年度事業計画(案)に関する件

[ 第 3 回 ] 平成16年 2月18日(水) 通信会議

( 1 ) 平成16年度事業計画、予算(案)に関する件

( 2 ) 平成15年度事業報告(案)に関する件

( 3 ) 先天異常の発生因子と予防マニュアル作成に関する件